

「喜びの陰で」



昨日、日田地区前期入試が終わりました。来週から随時入試・合格発表が続きます。3年生は生まれて初めて受験を経験します。受験では面接もあり「緊張するな」という方が無理な話です。本番の入試では周りが知らない人ばかりの中で、さらに緊張感が高まります。だから本番で自分の力を出し切るのはとても難しいことです。全員、この緊張感を必ず経験することになります。そこで、少し考えてほしいこと、覚えておいてほしいことがあります。私立受験にしても、公立推薦入試にしても当然合格発表の日がきます。本人はもちろん、家族や友達もきっとワクワクドキドキしながら、落ち着かない気持ちで発表を待つことになります。「良かったね、全員希望通りに合格したよ」と言いたいけれど、友達の中には残念ながら不合格になる人もいます。そんな人が自分の周りにいることを知った時、自分が合格をしたからと言ってはしゃぎ回っていいだろうか？

確かに努力の結果、合格したのだから、とても嬉しいに違いありません。でも、自分と同じく努力をしたのにうまくいかなかった人に対する思いやりの心を忘れないでほしいと思います。それと、自分の力だけで合格したと錯覚しないようにもしてほしいと思います。栄養や体に気を配ってくれた家族、働いて頑張ってくれた家族、調査書を書ってくれた先生、補充学習で優しく寄り添ってくれた先生や友達、いろんな人が陰で支えてくれたことも忘れないでほしいと思います。そんな人達にきちんと「ありがとう」と言える、そんな浮羽中3年生であってほしいと強く思っています。

冷静に受けとめたい 合格発表

★専願受験者だけでなく、一般受験の人もよく読んでください

専願入試の結果は来週早々から発表が行われます。本当にドキドキしながら発表の日を迎えるでしょう。現実には厳しいもので、専願入試に限らず、一般入試でも合格する人がいれば、不合格の人、希望する科に合格できなかった人もです。

万が一、結果が良くなかったとしても、それが即「自分が頑張っていなかった」「自分はダメなんだ」ということにはつながりません。今までの頑張りの度合いだけでなく、当日の体調もあるでしょう、試験問題との相性もあるでしょう。一発勝負の入試には「運・不運」もかなりあります。「たまたま」合格、「たまたま」不合格ということもあります。

ですから結果を冷静に受けとめられる心の準備をしながら、「合格」を祈りつつ発表の日を待ちましょう。

公立高校・国立高専推薦入試受験者数をお知らせします！

高校	推薦受験者数	高校	推薦受験者数
浮羽究真館	3名	朝倉	1名
浮羽工業	4名	三潞(特色化)	1名
久留米商業	5名	合計	20名
南筑	1名	□面接と作文練習が大変です。しかし、教科の学習もいい加減にしないで努力していきましょう。	
明善	1名		
久留米高専	4名		



「今こそ出発点」

人生とは毎日が訓練である
失敗もできる訓練の場である
今この幸せを喜ぶこともなく
全力で進めよう
今ここで頑張らずにいつ頑張る

わたくし自身の訓練の場である
生きていることを喜ぶ 訓練の場である
いつどこで幸せになれるか この喜びをもとに
わたくし自身の将来は 今この瞬間にある

*人生は一回限りです。後で努力をするでは遅いのです。今を大切にしなければ将来の幸せはありません。今を大切にしてください。